



## 沖縄の自然



沖縄県は、北緯27度から北緯25度の南北にのびた広い海域に、多くの島々から成り立つ、年間平均気温23.1度(那覇市1981~2010年)と年中暖かく過ごしやすい亜熱帯地域です。また、世界中の亜熱帯は乾燥した地域が多い中で、沖縄県は暖かな黒潮の流れるサンゴ礁の海に囲まれていること

や台風の襲来などにより、年間平均降水量2040.8mm(那覇市1981~2010年)と全国平均の1800mmを上回る雨の多い地域です。

そのため沖縄県には豊かで特有の森林が育ち、そこをすみかとして多様で、独特な動物が生息しています。



## ホロホローの森の自然

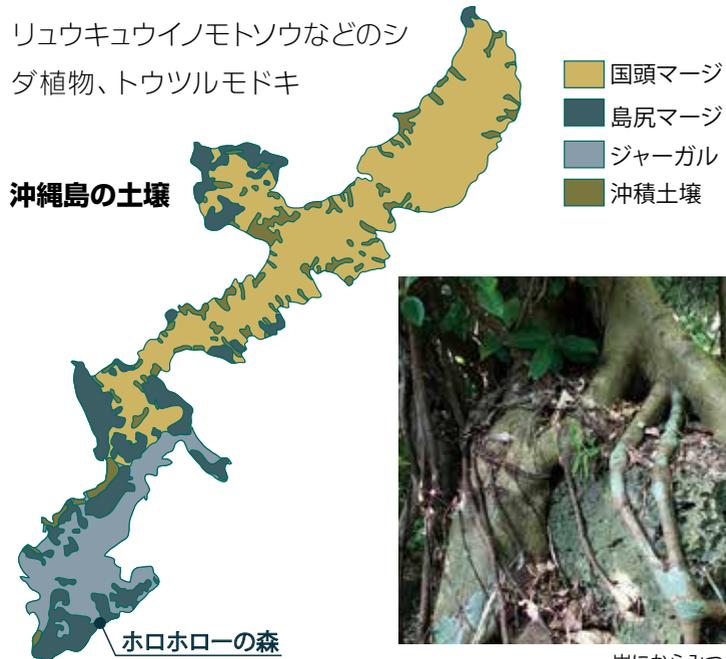


ホロホローの森がある沖縄島南部は、サンゴ礁由来の石灰岩地の弱アルカリ性土壌で、北部のやんばらの森(非石灰岩地)とはちがう特有の植物が生育しています。ガジュマルやアコウなどのイチジク属の植物は幹から伸びた気根が岩や木の幹にからみつき、岩をくだいたり、他の植物を枯らしたりしてしまうため「絞め殺し植物」とも呼ばれます。アカギやヤブニッケイなど樹木のほか、ホウビカンジュやリュウキュウイノモトソウなどのシダ植物、トウツルモドキ

やノアサガオなどのつる性植物が森をつくっています。

また、オカヤドカリ類やクロイワトカゲモドキといった天然記念物の動物をはじめ、オオゴマダラやシロオビアゲハなどに代表される昆虫類、シリケンイモリ、オキナワキノボリトカゲやオリイオアコウモリなど、身近でありながら沖縄県固有の動物たちの貴重なすみかとなっています。

### 沖縄島の土壌



岩にからみつくガジュマルの木根

